



第19回 (平成30年度第2回)群馬県トラックの森づくり事業へ参

- ➡ 開催日 10月14日(日)
- ➡ 場 所 前橋市嶺公園内
群馬県トラックの森
- ➡ 参加者 部会員22名



天候に恵まれた当日は、青年部会員をはじめ協会員その家族がたくさん参加し、「トラックの森づくり事業」に相応しい日となりました。

子供たちは、慣れない鎌を使っての作業でしたが、私たちと一緒に汗をかきながら一生懸命作業をしている姿を見ると、自分も子供たちに負けぬよう頑張ろうという思いになり作業を行うことができました。

また、子供イベントとして「花の寄せ植え・鉢のお絵描き・コースター作り」を行い、子供たちは自分で作った鉢植え等を親に見せて楽しんでいました。



普段顔を合わすことのできない仲間たちと作業を行い、とても良い汗を流すことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

今後も「トラックの森事業」が継続して開催できるように、自身の参加も含めたくさんの会員事業者の皆さまに参加を呼び掛けていきたいと思ひます。
(前橋支部幹事 川井基義)

平成30年度第1回青年経営者養成セミナーを開催

- ➡ 開催日 10月22日(月)
- ➡ 場 所 株式会社ボルテックスセイゲン
- ➡ 参加者 部会員29名・他8名
(総勢37名)

今年度は、“安全”“事故防止”を主軸に青年経営者養成セミナーを企画し、「安全第一主



義」を基本理念に経営をされている㈱ボルテックスセイグン様の視察研修を開催させていただきました。

はじめに、武井社長様のご講演を拝聴いたしました。創業からの歩みと安全第一主義による人づくり、地域活性化の取り組みについてなどを、事細かにご説明いただき、参加者一同食い入るように聴き入っていました。特に拝聴している中で、武井社長様が「この会社も一朝一夕で今がある訳ではなく、気付いた事を実直にひとつひとつ実践した結果で今がある。」とお話ししていたことが非常に心に残りました。

私自身も「実践のタイミング、今やれる事を後回しにせず今やる。」ということを念頭に置き、日々の社業等に活かしていきたいと思いました。

次に現地視察では、自社開発のＩＴ遠隔点呼システム、遠隔健康指導システム、うずまき保育園を見学させていただきました。その後、平成２６年１１月に開設した、鷺宮物流センターにて、更なる物流の効率化を実現している「ドライブインラック」や今後の県内の人口減少に向けた取組として、経産省の支援により産官学金が連携し実証実験を行っている自動荷役システム開発のプロジェクト構想等について、実際に見学しながらご説明いただきました。

全ての取り組みが業界を牽引していくものであり、非常に多くを学ぶことができました。

今後も青年部会員が積極的に参加できる場を提供できるように企画し、自分自身も参加し自己研鑽に努めていきたいと思います。

(浜川支部幹事 須田直人)



関東トラック協会青年部会平成30年度研修見学会へ参加

- 開催日 11月9日（金）
- 場 所 シチズン電子株式会社
富士山世界遺産センター
ホテル鐘山苑
- 参加者 当県11名（総勢98名）

山梨県富士吉田市で開催された関東トラック協会青年部会研修見学会に参加しました。

初めにシチズン電子(株)本社工場を見学しました。シチズンと聞くと腕時計というイメージがありますが、そこで開発、製造されている製品は主にLEDと小型スイッチであり、腕時計の小型薄型化の開発で培った技術を私たちの身近にある多くの電子デバイスに使用していることを知る良い機会となりました。

また、参加した部会員は、理科の実験を見つめる子供のような眼差しで熱心に聞き入り、積極的に質問する光景や、驚く程に小さな製品に「運送屋泣かせだ。」とこぼす一幕もありました。

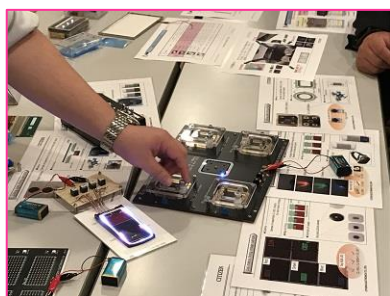
その後、富士山世界遺産センターを訪れ、視察終了後、ホテルで研修発表会が行われました。

当県は、滝澤幹事が丁寧にそして実にユーモアに溢れる発表を行い、会場に集まった100名近くの青年部会員を魅了しました。

また、交流会は関東各都県の皆さまと楽しく笑いに溢れる素晴らしい宴となりました。

今回初めて参加させていただきましたが、実に有意義に過ごせた研修見学会でした。

（大間々支部幹事 天沼克彦）



平成30年度第2回(公社)全ト協青年部会全国代表者協議会へ参加

- 開催日 11月12日(月)
- 場 所 全日本トラック総合会館
- 参加者 当県1名(総勢49名)

第2回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者協議会が各都道府県並びに各ブロックの代表者総勢49名が集まり盛大に開催されました。



第1部研修会では、本年度も日本PMIコンサルティング(株)代表取締役 小坂真弘様の進行により、「長距離運行における改善基準告示遵守の状況と課題」、「高齢者及び女性労働者活用に係る現状と課題」、「若年労働者採用、育成、定着に係る現状と課題」の3テーマについて、6班に分かれてディスカッションを行いました。

さらにディスカッションの結果を「自社で取り組むべきこと」、「協会・行政に求めること」に整理し、まとめた内容を班毎に発表しましたが、私も班の代表として発表を行いました。参加者全員が限られた時間の中で一生懸命語り合う姿が見られ、非常に引き締まった良いディスカッションとなりました。



第2部交流会では、積極的に他県及び他ブロック長と名刺交換を行いヒューマンネットワーク構築に向け輪を広げてまいりました。



最後に、全国代表者協議会に参加し、全国の仲間たちと交流をすることが出来て、非常に勉強になり刺激になりました。この経験を今後の青年部会活動と社業に役立てていきたいと思います。

(部会長 磯野哲也)

第23回働くトラック絵画コンクール入賞作品展示会を開催

- 開催日 10月29日(月)～11月30日(金)
- 場 所 群馬県トラック総合会館2階
- 参加者 部会員8名

青年部会主催による第23回働くトラック絵画コンクールに会員事業所のお子様、県内の小学生から応募のあった708作品の中から選考会で選ばれた受賞作品56点を群馬県トラック総合会館内に展示しました。



開催期間中に訪れた方々に子供たちの力作を鑑賞していただき、「年々絵画のレベルが上がっている。」とのお言葉をいただくなど、素晴らしい展示会となりました。

来年度も協会行事や各支部に於いて展示ブースを設ける予定です。開催時には、是非ともお立ち寄りいただき、子供達の力作をご鑑賞ください。
(高崎支部幹事 田中悟史)

前橋支部・「働くトラックの絵」コンクール入賞作品展示会・表彰式を開催

- 開催日 展示会：１０月３日（水）～９日（火）
表彰式：１０月２０日（土）
- 場 所 展示会：前橋プラザ元気２１
表彰式：群馬会館
- 参加者 展示会：部会員 ６名
表彰式：部会員 １３名



前橋支部青年部会は、支部内で応募のあった「働くトラックの絵」を前橋支部役員にご協力いただき、９月１９日（水）に選考会を開催しました。選考会で入賞した３５点の作品を１０月３日（水）～１０月９日（火）ま



での７日間、前橋市本町「前橋プラザ元気２１」内にて展示会を行い、大勢の方に鑑賞していただきました。

また、１０月２０日（土）開催の「交通・労災事故防止総決起大会」にて、選考会で選ばれた入賞者のうち優秀賞９名に対し表彰式を行いました。
(前橋支部部会員 清水健夫)



前橋支部・第７０回前橋まつり楽器輸送を実施

- 開催日 １０月６日（土）～７日（日）
- 場 所 前橋市内
- 参加者 部会員 １４名・他 ３名（総勢 １７名）

今年度の前橋まつりは、鼓笛のみ実施となり、前橋市４６校、高崎市からは片岡中学校、西小学校の２校が参加し、鼓笛パレードに参加して開催されました。

当支部青年部会では、前橋市立中川小学校、桃井小学校を除く４６校の楽器輸送を担当し、前橋支部５０会、青年部会員の協力もあり、必要なトラック台数を確保することができ、トラブルなく終了することができました。これも、各社が安全運転に努め、学校との密な打合せを心がけていただいた結果だと思います。

また、例年天候が不安視されていましたが、不安定な天気が続く中、両日とも１０月とは思えない猛暑日となり、額に汗を光らせ演奏する子供たちの姿を見ることが出来ました。

(前橋支部部会員 永井健晴)



前橋支部・青年部会チャリティゴルフコンペ・慰労会を開催

- 開催日 11月11日（日）
- 場 所 伊香保国際カンツリークラブ
徳田屋旅館
- 参加者 部会員8名（総勢22名）



前橋支部青年部会では、伊香保国際カンツリークラブにて、チャリティコンペを開催しました。

当日は、支部青年部会をはじめ、桐生支部青年部会から4名、各ディーラー、賛助会員の皆様にご参加いただき、6組22名でのプレーとなりました。

プレー終了後には、伊香保の徳田屋旅館にて表彰式と慰労会を行いました。今回、初めて参加いただいた賛助会員の皆様と、お酒を交わしながら楽しく交流させていただきました。

また、皆様にご協力いただいたチャリティ募金の22,000円については、（一社）群馬県トラック協会交通遺児・労働災害遺児育英基金へ寄贈しました。（前橋支部部会員 田中大樹）

桐生支部・第12回桐生交通安全フェスティバルへ参加

- 開催日 10月21日（日）
- 場 所 桐生市役所
- 参加者 部会員14名



桐生支部青年部会では、桐生市役所にて開催された、「桐生交通安全フェスティバル」へ参加しました。

当ブースでは、「見て・体験して・楽しむ・交通安全」をテーマに働くトラック絵画コンクール絵画展示並び



に当青年部会の選考会で入選した子供達を招き、表彰式を開催し表彰状と記念品を贈呈しました。

また、当青年部会の恒例となっている「高原野菜の無料配布」を嬋恋村高原キャベツ300個用意し、午前と午後の2回に分けて配布しました。

今年は、全国各地で猛暑日が続き、野菜の収穫も非常に厳しい中、予想以上にキャベツを確保することができました。不作により野菜の価格が高騰していることもあり、キャベツの無料配布を待っている人々の列は会場の端から端まで長蛇の列ができ、キャベツが足りなくなるほど大盛況となりました。

その他ブースでは、衝突体験シートベルトコンビンサーによる衝撃体験、桐生警察署が白バイ等の展示及び記念撮影、群馬大学理工学部で開発された低速電動バスの試乗体験など、共催団体が様々なイベントを行い、会場に訪れた多くの子供たちが、交通安全について学べるイベントとなりました。

当支部青年部会では、来年も、より多くの市民が喜んでいただけるイベントになるよう、今後も継続して参加し発展させて行きたいと思います。（桐生支部幹事 吉田武士）

館林支部・働くトラック絵画コンクール表彰式及び展示会を開催

- 開催日 10月13日（土）
- 場 所 館林警察署
- 参加者 部会員12名（来場者総勢100名）

館林青年部会では、館林警察署で開催された館林支部主催の交通事故・労働災害防止総決起大会において、表彰式と展示会を開催しました。第23回働くトラック絵画コンクールに館林支部内から応募された全22点の作品から、県入賞作品2点を除いた作品を対象として支部独自に「支部長表彰1点・支部特別賞3点・青年部会長賞1点・青年部特別賞2点」を選考し、受賞した子供達とご家族を大会に招き、谷田川支部長並びに本間青年部会長から賞状と記念品を贈呈しました。



大会会場には今回応募していただいた絵画22作品を展示して、大勢の大会参加者へご披露しました。
（館林支部幹事 本間美儀男）

佐波伊勢崎支部・第34回玉村町産業祭へ

- 開催日 11月18日（日）
- 場 所 玉村町役場
- 参加者 部会員23名

佐波伊勢崎支部青年部会では、玉村町役場にて交通安全啓発活動及び広報活動の一環として、玉村町商工会主唱による「玉村町産業祭」にブースを出展し、チャリティバザー&抽選会を行いました。

チャリティバザーでは、部会員の取引先企業様や荷主企業様から商品を提供いただき、即売会を行いました。

家具調コタツ、セラミックファンヒーターが当たる1回200円抽選会は、バザー商品と同様に部会員の取引先企業様や各トラックディーラーに賞品のご提供いただき、200円以上の価値あるハズレ商品も用意することができました。

また、富士山にある部会員の営業所の地下から汲み上げた、バナジウム天然水を使用し、前日からコトコト煮込んだ玉蒟蒻は毎年参加住民の方々から好評いただいております。支部青年部会として参加してから今年で9年目となりますが、お客様の顔なじみも増えるほど人気のあるブースと



なりました。

来年度も多くの方に喜んでいただけるよう継続して参加したいと思います。

なお、昨年7月に発生した豪雨により甚大な被害を受けた地域の被災者の皆様に支援するため、前回の同産業祭において集められた浄財の一部を、当支部青年部会から県青年部会を通じて「平成30年7月豪雨災害被災者支援に係る義援金活動」の実施主体となる(公社)全日本トラック協会青年部会へ贈呈しました。

(佐波伊勢崎支部幹事 箱田直希)



高崎支部・第29回高崎マーチングフェスティバルへ参加

- 開催日 10月20日(土)～21日(日)
- 場 所 高崎市内・高崎アリーナ
- 参加者 部会員10名

高崎支部青年部会では、高崎マーチングフェスティバルの運営に2日間延べ47台の車両提供等、青年部会員10名の方々にご協力をいただき参加しました。

キッズドリル・パレード・街角コンサート・フロアドリルと市内のキッズ・スクールバンドを中心とした素晴らしい演奏家たちが、高崎の街を約1km駆け抜け、「音楽の街」高崎市に相応しい、感動と驚きの演奏を奏でてくれました。

高崎アリーナで行われたフロアドリルは、市内小・中学校をはじめ、近県のトップバンドも参加して大いに盛り上がりました。

来年も開催されますので、今年度同様にキッズたちの夢や希望に応えるお手伝いをさせていただきたいと思います。

(高崎支部幹事 田中悟史)



謹賀新年

昨年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

平成31年1月



新規加入部会員紹介



小川健一さん

(佐波伊勢崎支部 朝日急送㈱)

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。
部会員の皆様の力になれるよう
頑張りたいので宜しくお願いします。

新規加入部会員募集

青年部会に興味のある方は、事務局又は青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。

みなさまのご参加をお待ちしています。

★問合せ先★

青年部会事務局（永井・武井）

TEL027 - 261 - 0244

◆ 平成30年度下半期活動スケジュール ◆

日時	行事名	場所
1月3日(木)～ 2月28日(木)	平成30年度第2回献血推進活動	群馬県内各献血ルーム
2月13日(水)	平成30年度第2回青年経営者養成セミナー	群馬県トラック総合会館
2月22日(金)	平成30年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会	京王プラザホテル
3月9日(土)	平成30年度青年部会全体研修交流会	前橋さくらホテル

お薦めの一冊



以前にも増して耳にするようになった言葉「AI」。トラック業界もご多分に漏れず、人口減少等による労働力不足が懸念され、より高度な安全対策が熱望される中、まさにそのAI技術の開発が急務となっております。AIって何だろう？そんな時、知人に勧めてもらったのがこの本です。

AIは論理・統計が得意である一方、「読解力」といった分野は苦手であるとのこと。そして現代の子供の能力・特性などを考え、今後の教育に警鐘を鳴らしている内容となっています。非常にわかり易い言葉で説明されており、読みやすいのでお勧めしたいと思います。

(渋川支部幹事 須田直人)

新井紀子（あらい のりこ）：東京都生まれ。国立情報学研究所教授、同社会共有知研究センター長。

一橋大学法学部およびイリノイ大学数学科卒。イリノイ大学大学院数学研究科を経て、東京工業大学より博士号（理学）取得。専門は数理論理学。著書に『ハッピーになれる算数』（イースト・プレス）、『数学は言葉』（東京図書）、『コンピュータが仕事を奪う』（日本経済新聞出版社）など多数。

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』（東洋経済新報社）で第27回山本七平賞を受賞。



LOVE in Action !

～Let's go 献血 みんなで社会貢献～

一般社団法人群馬県トラック協会青年部会

青年部会事務局 ☎027-261-0244



私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

期 間



~~第1回 平成30年8月1日 ～ 9月30日まで~~

第2回 平成31年1月3日 ～ 2月28日まで

先着50個限定で「粗品」プレゼント！！ ※常設献血ルームのみ

群馬県トラック協会青年部会では社会貢献活動の一環として“献血活動”を行ないます。
夏期や冬期に血液が不足するのを踏まえ、8～9月と1～2月の2回実施いたしますので
ご協力をお願いします。

県内3カ所の常設献血ルーム（前橋・高崎・太田）と日替わりで設置される出張献血会場
がございますので、期間中に最寄りの場所で献血いただけます。

* 献血に当たっての採血基準や留意事項、日替わりの献血会場スケジュール等は
群馬県赤十字血液センターのホームページでご確認下さい。

群馬県赤十字血液センター <https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/gunma/>

* 受付時には必ず『群馬県トラック協会青年部会』と申し出て、自動車運転免許証
または健康保険証を提示して下さい。※部会員以外の方も同様に申し出て下さい。

* 献血へのご協力は、十分体調を考慮してご無理されないようご注意ください。



献血ルーム 前橋ハートランド

0120-805-871 9:30～18:00

【全血献血】

午前10時～午後1時

午後2時～午後5時30分

駐車場

献血ルーム専用駐車場

前橋駅周辺Times



高崎献血ルーム Harmony

0120-805-870 9:30～18:00

【全血献血】

午前10時～午後1時

午後2時～午後5時30分

駐車場

JR高崎駅東口駐車場 ヤマダ電機

アイパーク ココパルク800

高崎都市整備公社駅前



太田献血ルーム

0120-805-872 9:30～18:00

【全血献血】

午前10時～午後1時

午後2時～午後5時30分

駐車場

献血ルーム正面



初めての献血
でも係りの方
が丁寧に教え
てくれます



プライバシーに配慮
してタッチパネルに
よるアンケート記入



普段血圧高いけど問
診でOK！思ったよ
り痛くなかったよ。



久しぶりだから200
mmと思ったけど思い
切って400mm献血を
してみました！



受付から採血まで約1時間程で終了します！！